

2017年度ベトナムでの活動報告

活動① ホーチミンにある日本式透析施設（2016年8月設立）の水質管理

期 間：2017年3月9日、5月17日、2018年1月10日

場 所：ホーチミン

参加者：松原 弘和（国際委員会）、Nguyen Duc Nam（TUC Vietnam）

ホーチミン市にある総合病院に2016年8月に設立された日本式透析施設で水質検査（10台あるコンソール（SURDIAL55plus）を1年かけて全台検査）を行った。結果はいずれも超純水透析液の基準を満たしていた。



活動② ホーチミンにある透析施設の水質調査

期 間：2017年3月9日、2017年5月18日

場 所：ホーチミン

参加者：松原 弘和（国際委員会）、Nguyen Duc Nam（TUC Vietnam）

ホーチミンにある透析施設3施設で水質検査を行った。結果はいずれも超純水透析液基準は満たしていなかったものの、標準透析液基準を満たしていた。ホーチミン市では透析用水の清浄化に対する意識が高まりつつあるが、

知識が伴っておらず闇雲にRO膜を交換するなど正しくない方法を取っていた。更なる教育支援が必要だと感じた。

活動③ ホーチミン市透析医学会開催支援

期 間：2017年10月14日

場 所：ホーチミン

参加者：小久保 謙一（国際委員会）、松原 弘和（国際委員会）、兵藤 透（えいじんクリニック）、川西 秀樹（あかね会 土谷総合病院）、植田 敦志（筑波大学附属病院 日立社会連携教育センター）、北島 幸枝（東京医療保健大学）、Nguyen Duc Nam（TUC Vietnam）

ホーチミンで行われた第3回 Ho Chi Minh City Society of Dialysis Therapies（HSDT, ホーチミン透析医学会）の企画、日本からの講演者の手配を手伝った。ベトナムにおける透析医療の現状を踏まえ、基礎を中心に講義のプログラムを作成した。昨年と同様に、スライドは英語で作成し、発表は日本語もしくは英語で行

い、逐次ベトナム語に通訳をして参加者が理解できるように工夫した。

東南アジアでは学会が時間通りに進行されないことが多いなか、3回目の学会開催で初めて時間通りに全プログラムを終了することができた。